



キッチンから、笑顔をつくろう

株主の皆さまへ

第58期 報告書

2010年4月1日から 2011年3月31日まで

このたびの東日本大震災により被災された皆さまに
心よりお見舞い申し上げます
被災地の皆さまのご無事と一日も早い復興を
心よりお祈り申し上げます

去る2011年3月11日に発生した東日本大震災により、東北地方太平洋岸を中心とする東日本地域は甚大な被害を受けました。被災された皆さまに心よりお見舞い申し上げるとともに、被災地の皆さまのご無事と一日も早い復興を心よりお祈り申し上げます。

クリナップグループにおきましても、このたびの大震災の影響から工場が操業停止となり、多くの皆さまにご迷惑をおかけいたしましたこ

とを深くお詫び申し上げます。全社員の総力を結集して取り組んだ結果、お陰さまをもちまして4月11日より操業を再開しております。

当社グループは今後、被災地の皆さまと心をひとつに、この難局を乗り越えてまいります。そのためにも、キッチンを中心とした水まわりの専門メーカーとして、『家族の笑顔を創ります』という新経営理念を、従来にもまして全社員一丸となって力強く追求してまいります。

株主の皆さまへ



代表取締役社長

井上 強一

2011年3月期の 連結決算ハイライト

- 売上高は、2月までの前年同月を上回る販売状況を受け、前年同期比2.0%増となりました。
- 営業利益は、これまでの収益構造改革の成果が表れ、前年同期比56.3%増となりました。
- 当期純利益は、大震災による特別損失の計上により、前年同期比87.8%減となりました。

ごあいさつ

「いまこそキッチンから、笑顔をつくろう」を合言葉に、“The Kitchen Company”として邁進してまいります。

このたびの東日本大震災により被災された皆さまに心よりお見舞い申し上げます。

また、株主の皆さまには日頃より格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

当期は、住宅ローン減税や住宅エコポイント制度の拡充等により、新設住宅着工戸数が前年同月を上回る水準で推移し、当社が属する住宅設備機器業界は比較的順調な出荷動向で推移しておりました。しかし、当期最後の月である3月に東日本大震災が発生し、業界全体に極めて大きな影響を与える結果となりました。

こうした中、当社グループは、前期に引き続き、商品力の強化、販売促進活動の展開などを積極的に推し進め、利益ある安定成長基盤を着実に根付かせてまいりました。

その結果、東日本大震災が発生した2011年3月を除き、2010年4月から2011年2月までの11ヵ月間は、前年同月を上回る水準で順調に業績を伸ばすことができました。

以上の結果、当期の連結業績は、売上高が前年同期比2.0%増、営業利益が同56.3%増、経常利益が同54.2%増と、増収増益を実現させることができました。しかしながら、当期純利益につきましては、東日本大震災による特別損失18億79百万円等の計上により、同87.8%減を余儀なくされました。

2012年3月期は、東日本大震災が業績に影を落とす厳しい年となることが予想されますが、当社グループは、全社一丸となって、「いまこそキッチンから、笑顔をつくろう」を合言葉に、“The Kitchen Company”として邁進してまいります。

株主の皆さまには、引き続き当社の経営をご支援いただきますようお願い申し上げます。

株主の皆さまへ

大震災の影響を除けば、当期は、これまでの取り組みが大きな成果となった年でした。

新設住宅着工戸数の推移を見ますと、2010年4月に前年同月を17ヵ月ぶりに上回り、以降、2011年2月まで回復基調を続けておりました。ただ、リフォーム市場については、需要の顕在化が待たれる中、引き続き先行き不透明な状況で推移いたしました。

そうした環境下、2011年3月の大震災によって、同月に予定していた商品の製造/納品ができない事態が発生したにもかかわらず、当社の当期連結業績は、営業増益を達成することができました。これは、ここ数年間の利益体質への構造変革の取り組みが効果を発揮するようになったためであると自負しております。

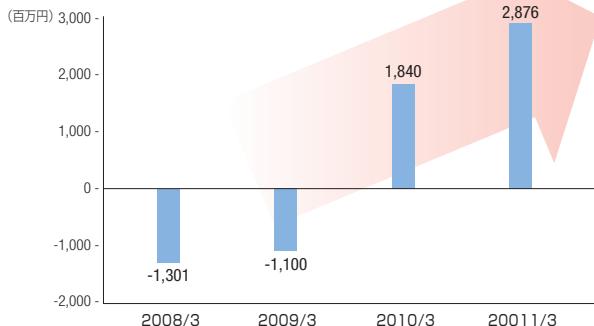
商品開発面では、“お客さま目線からの商品開発”をより重視し、厨房機器で言えば、かつては中・高級タイプに絞った開発を行っておりましたが、お客さまニーズの変化に対応して高級・中級・普及の全タイプの品揃え、より購入しやすい

パッケージ・バリエーションの開発などラインナップの拡充に努めてまいりました。この取り組みが奏効し、各タイプにおける当社の業界シェアは着実に向上してまいりました。

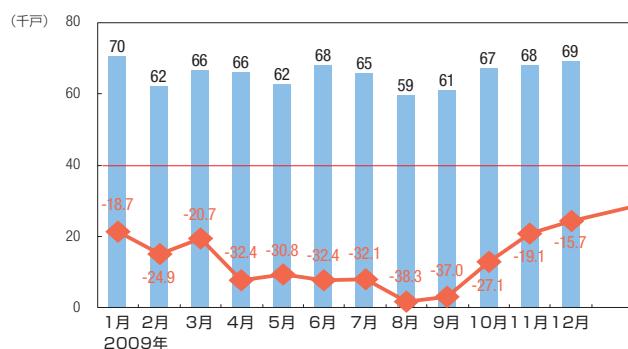
販売促進面でもまた、“お客さま目線からのコミュニケーション”を重視して、様々な施策を展開してまいりました。具体的には、全国100超の拠点数を持つショールームを基点に、お料理やお掃除をテーマとしたイベントなどをミックスして、当社商品の良さをご体感いただく取り組み、新たなメディアとしてウェブを活用した各種サイトの立上げ、リフォーム需要の喚起と掘り起こしに向けた『水まわり工房』（地域の工務店を中心とした会員組織）による地域のお客さまへのアプローチの活性化など、的確な施策を着実に積み重ねてまいりました。

これら施策の一つひとつの積み重ねが、当社グループの利益体質への変革を導いてきたものと考えております。

■ 連結営業利益の推移



■ 新設住宅着工戸数の推移





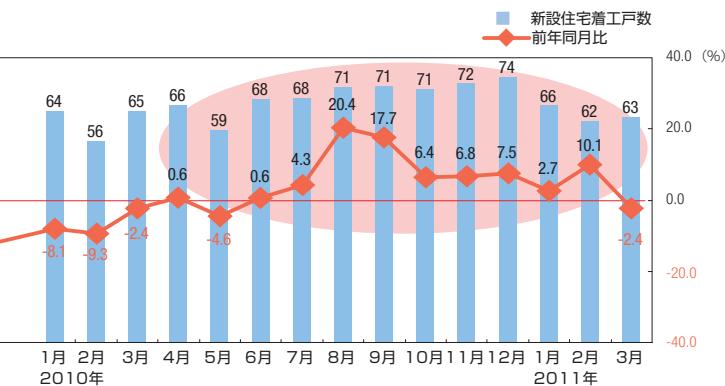
工場の完全復旧と新たな商品提案などにより、 全社員一丸となった経営を推進してまいります。

2011年3月の新設住宅着工戸数は、東日本大震災の影響によりそれまでの推移から一転、前年同月比2.4%減となりました。

今後につきましては、不安定な部材供給や電力不足等による経済活動の停滞というマイナス要因と、復興による住宅設備機器の需要増加というプラス要因とが、複合的に絡み合いながら、大震災の影響が顕在化してくることが予想されます。

こうした状況の中、供給体制としては、操業を再開した工場の完全復旧を早期に実現させ、タイムリーかつ安定的な供給に注力してまいります。また、商品開発面では、当社主力商品「クリンレディ」をフルモデルチェンジし、“The Kitchen Company”としてのより強力な提案を開始いたします。

しかしながら、現時点では、2012年3月期の業績見通しを行うことは非常に困難であるため、業績予想が未公表であることにつきまして、株主の皆さまにお詫び申し上げます。可能となり次第、速やかに公表してまいります。



クリナップの新企業理念

クリナップは、創業60周年(2009年10月)を契機に、『第二の創業』に向けた新たな一歩を踏み出しました。

■ 新企業理念

創業者理念「五心」

- 一、創業の心
- 一、親愛の心
- 一、創意の心
- 一、技術の心
- 一、使命の心

創業者理念 「五心」

企業理念

「家族の笑顔を創ります」

行動理念

1. 私たちは、心豊かな食・住文化を創ります
2. 私たちは、公正で誠実な企業活動を貫きます
3. 私たちは、自らの家族に誇れる企業を創ります

新ブランドステートメント

キッチンから、笑顔をつくらう

事業としては「キッチンダントツNo.1」をめざす
お客様に対しては「キッチンの代名詞」としての評判をつくる

活動方針

上記三つの理念(創業者理念・企業理念・行動理念)に根ざした強い人材・組織・事業を育成することにより、経営を強化/高度化し、“The Kitchen Company”を確立します。

特集：「新クリンレディ」が提案するキッチン新たな魅力

“The Kitchen Company”として



「ステンレス」という素材のすばらしさを限りなく活かした「新クリンレディ」が、この6月より新登場！

サビにくく丈夫で、汚れやニオイも浸み込まず、環境にもやさしいといった素材特徴を持っている「ステンレス」。この素材を使うことで、キッチンは「清潔」「長寿命」「ECO」といった大きなメリットを手に入れることができます。

クリナップは、“The Kitchen Company”として、この素材にこだわり、極限まで活かした新商品「新クリンレディ」を開発し、6月より販売を開始いたしました。

■ ステンレスの特徴



清潔
長寿命
ECO



キッチン、ステンレス エコキャビネットの時代へ。

Stainless Eco-Cabinet



「新クリンレディ」は、長年にわたってクリナップが蓄積してきた、ステンレスの素材特性を活かす技術とノウハウが結集された自信作です。

最も大きな変化は、従来は木製だったキャビネットをステンレス素材にしたこと。これにより、耐食性に優れた長寿命のキッチンをお届けすることができるだけでなく、リサイクル性にも優れた地球環境に

やさしい商品となっております。

「新クリンレディ」は、その他にも、キズつきにくい「プラスエンボスワークトップ」、お手入れ簡単な「ステンレス扉」や「ステンレス引出し底板」など、ステンレス素材の活用を極めたクリーン性能の数々を実現しています。

クリナップの新しい提案を、是非、当社のショールームでご体感いただければ幸いです。

主なトピックス



CSR 関連

環境問題への取り組みをまとめた「2010環境報告書」を発行

2010年10月、当社の環境問題への取り組みをまとめた「2010環境報告書」を発行いたしました。また、ダイジェスト版「econup/エコナップ」を全国ショールーム及び営業所にて幅広く配布しております。当社では2005年にキッチン専門メーカーとして初めて環境報告書を発行し、以来毎年発行しております。

2010
環境報告書
のポイント

人と自然にやさしい
住生活空間を目指して

①環境に配慮した製品づくり

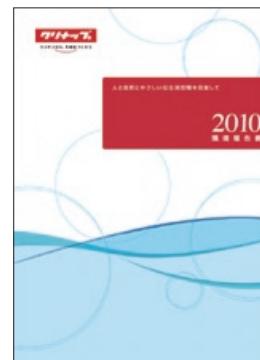
- 省エネ型IHクッキングヒーターの採用
- 省エネ型システムバスルームhairoの開発及び省エネ型照明機器の採用

②事業活動中での環境負荷低減

- 環境省より広域認定制度の認可を取得
- 環境配慮型パソコンサーバに全面刷新

③環境コミュニケーション

- ペットボトルのキャップを再利用する「エコキャップ運動」に参加
- エコ安全ドライブキャンペーンをスタート



2010環境報告書

ウェブ・コミュニケーション

食・住文化の視点に立ったイベントの展開や、ショールームを基点とした地域の皆さまとのコミュニケーションなど、新たなメディアとしてウェブを活用したコミュニケーションにも注力

スペシャルコンテンツ 「キッチンとかけてステンレスと解く」

キッチン専門メーカーの視点からステンレスの良さを紹介するスペシャルコンテンツ「ととのいました!キッチンとかけてステンレスと解く。その心は?」を、2010年9月より当社ウェブサイトにおいて公開しております。清潔で丈夫なステンレスの特徴が、キッチンにとってふさわしく最適な素材であることを改めてしっかりお伝えしたい、という思いを込めております。



お正月を楽しく迎えるサイト 「お皿で楽しむおせち料理」

一般的な重箱に詰めたスタイルではなく、どこの家庭にでもある大皿の上におせち料理の粋を集め、新しい食のスタイルを提案するスペシャルウェブサイト「お皿で楽しむおせち料理」をオープンいたしました。和洋を取り入れた12種類の料理は、見た目にも華やかで可愛らしく、普段の常備菜としてもお役に立ちます。

お皿で楽しむ おせち料理

「お皿で楽しむおせち料理」
和洋を取り入れた新しいスタイルの
おせち料理を提案いたします。
お皿で楽しむおせち料理は、
見た目にも華やかで可愛らしく、
普段の常備菜としてもお役に立ちます。



年末の大掃除に役立つサイト 「ラクラク大掃除計画」

キッチンを知り尽くした専門メーカーならではの、プロのクリーニングテクニックを広く皆さまに紹介するスペシャルウェブサイト「ラクラク大掃除計画」をオープンいたしました。これに連動して、全国のクリナップショールームでは無料の「キッチンお掃除教室」を開催。プロのクリーニングテクニックを直接学べる機会を設けました。



連結ハイライト情報／連結セグメント情報

■ 連結財務ハイライト

(百万円)

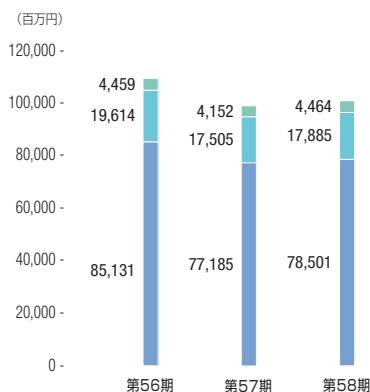
	第56期 2009年3月期	第57期 2010年3月期	第58期 2011年3月期
売上高	109,205	98,843	100,851
営業利益 (損失: △)	△ 1,100	1,840	2,876
経常利益 (損失: △)	△ 1,163	1,679	2,590
当期純利益 (損失: △)	△ 3,317	2,104	257
総資産	76,101	76,289	75,146
純資産	51,264	52,459	51,942

■ 部門別売上高 (連結)

(百万円)

	第56期 2009年3月期	第57期 2010年3月期	第58期 2011年3月期
厨房部門	85,131	77,185	78,501
浴槽・洗面部門	19,614	17,505	17,885
その他	4,459	4,152	4,464
合計	109,205	98,843	100,851

■ 厨房部門 ■ 浴槽・洗面部門 ■ その他



厨房部門の主な商品

高級品クラスの「S. S.」シリーズ、中・高級品クラスの「クリンレディ」シリーズ、普及品クラスの「ラクエラ」、マンション向けシステムキッチン、セクショナルキッチン等で構成されております。

浴槽・洗面部門の主な商品

中・高級品クラスのシステムバスルーム「アクリアバス」、普及品クラスの「hairo (はいろ)」等の浴槽関連商品と、洗面化粧台等で構成されております。



第58期の営業概況

市場環境

当連結会計年度におけるわが国経済は、海外経済の回復を起点として緩やかに回復を見せたものの、円高やデフレ傾向が依然として継続し、雇用情勢や個人消費の本格的な回復には至りませんでした。

住宅設備機器業界におきましては、住宅ローン減税や

住宅エコポイント制度の拡充等により、新設住宅着工戸数が前年同期を上回る動きとなりましたが、2011年3月、東日本大震災が発生し、甚大な影響を与える結果となりました。

業績・成果

このような中、当社グループは、2010年6月、システムキッチン「S.S.ライトパッケージ」を間口や高さ等のバリエーションを増やしつつ、従来より5万円お求めやすくして発売いたしました。また、システムキッチン「ラクエラ」とシステムバスルーム「hairo (はいろ)」を同月リニューアルし、新洗面化粧台「BTG」とのトータルコーディネートも可能な商品として同時発売いたしました。

販売面では、地域有力店を対象とした工場見学会を開催し、ファン化の促進を図りました。また、当社の会員登録制組織「水まわり工房」加盟店及びリフォーム有力企業との連携をさらに深めて売上の拡大を図りました。また、全国102カ所のショールームを活用し、「リフォームフェア」や「お料理教室」等を共同開催し、潜在需要の顕在化に努めてまいりました。

*VE活動：VE (Value Engineering) は、商品・サービスの期待される機能・価格を最低コストで確実に達成するための技術であり、VE活動は生産の現場におけるVE実現に向けた取り組み。

生産面では、引き続きVE活動(*)を推進し、原価低減に努めました。

しかしながら、2011年2月までは前年度を上回る動きで業績は順調に推移したものの、2011年3月に発生した東日本大震災の影響により工場が操業停止の事態となりました。なお、2011年4月11日より操業を再開しております。

以上の結果、当連結会計年度の売上高は前年同期比2.0%増の1,008億51百万円となりました。利益面では営業利益は同56.3%増の28億76百万円、経常利益は同54.2%増の25億90百万円と増益となりましたが、当期純利益は東日本大震災による特別損失18億79百万円等の計上もあり、同87.8%減の2億57百万円と大幅減益となりました。

第58期の部門別の状況

厨房部門では、システムキッチン「S.S.」は「ライトパッケージ効果」もあり数量は2ケタ増したものの、金額は微減、「クリンレディ」は数量、金額とも減、「ラクエラ」は数量、金額とも大幅増となりました。この結果、厨房部門の売上高は前年同期比1.7%増の785億1百万円となりました。

浴槽・洗面部門では、システムバスルーム「アクリアバス」は数量、金額とも減、「hairo (はいろ)」は数量、金額とも大幅増、洗面化粧台は数量、金額とも増加いたしました。この結果、浴槽・洗面部門の売上高は前年同期比2.2%増の178億85百万円となりました。

連結財務諸表

■ 連結貸借対照表の要旨

流動資産 流動資産は前期末比2億4百万円増加し498億59百万円となりました。これは主に、東日本大震災の影響により年度末の売上高が減少したこと等により受取手形及び売掛金が39億27百万円減少した一方で、現金及び預金35億16百万円、有価証券4億円、商品及び製品が1億62百万円それぞれ増加したためです。

固定資産 固定資産は前期末比13億47百万円減少し252億87百万円となりました。これは主に、減価償却により有形固定資産が10億16百万円減少、無形固定資産が3億18百万円減少したこと等によりです。

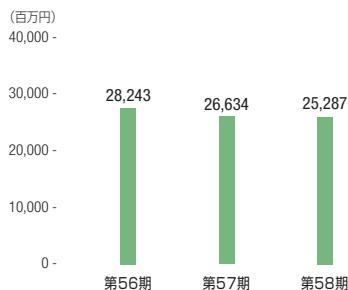
資産合計 流動資産が増加した一方で固定資産が減少したことから、資産合計は前期末比11億42百万円減少し751億46百万円となりました。

	第57期 2010年3月31日現在	第58期 2011年3月31日現在
(資産の部)		
流動資産	49,655	49,859
現金及び預金	20,269	23,786
受取手形及び売掛金	23,923	19,995
その他	5,508	6,110
貸倒引当金	△ 46	△ 32
固定資産	26,634	25,287
有形固定資産	19,056	18,040
建物及び構築物	8,534	8,106
土地	6,557	6,338
その他	3,964	3,595
無形固定資産	2,309	1,990
投資その他の資産	5,268	5,255
投資有価証券	2,404	2,418
その他	3,027	2,926
貸倒引当金	△ 163	△ 89
資産合計	76,289	75,146

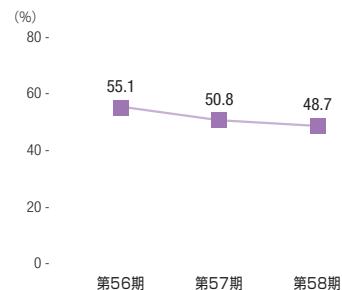
■ 資産合計



■ 固定資産



■ 固定比率



(百万円)

	第57期 2010年3月31日現在	第58期 2011年3月31日現在
(負債の部)		
流動負債	17,470	16,994
買掛金	6,033	3,782
その他	11,436	13,212
固定負債	6,359	6,209
長期借入金	2,555	1,583
退職給付引当金	1,415	1,784
役員退職慰労引当金	424	424
その他	1,964	2,416
負債合計	23,830	23,203
(純資産の部)		
株主資本	52,253	51,848
資本金	13,267	13,267
資本剰余金	12,351	12,351
利益剰余金	27,624	26,453
自己株式	△ 989	△ 224
その他の包括利益累計額	206	94
その他有価証券評価差額金	207	105
為替換算調整勘定	△ 1	△ 10
純資産合計	52,459	51,942
負債純資産合計	76,289	75,146

流動負債 流動負債は前期末比4億75百万円減少し169億94百万円となりました。これは主に、未払金12億93百万円の増加、災害損失引当金4億48百万円の計上などの方で、買掛金が22億51百万円減少したためです。

固定負債 固定負債は前期末比1億50百万円減少し62億9百万円となりました。これは主に、退職給付引当金3億68百万円の増加、資産除去債務3億51百万円の計上などの方で、長期借入金が9億71百万円減少したためです。

純資産合計 純資産合計は前期末比5億16百万円減少し519億42百万円となりました。これは主に、当期純利益2億57百万円、配当金の支払い4億68百万円、その他有価証券評価差額金の減少1億1百万円、自己株式取得1億93百万円があったことなどによります。また、自己株式200万株(9億58百万円)を2010年6月30日付で消却しております。この結果、自己資本比率は前期末比0.3ポイント向上し69.1%となりました。

有利子負債

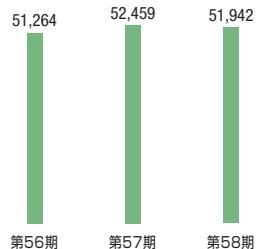
(百万円)

6,000 -
4,000 -
2,000 -
0 -

(※) 有利子負債は短期借入金、1年内返済予定の長期借入金、長期借入金、リース債務の合計。

純資産合計

(百万円)

60,000 -
40,000 -
20,000 -
0 -

自己資本比率

(%)

100 -
80 -
60 -
40 -
20 -
0 -

連結財務諸表

(百万円)

■ 連結損益計算書及び連結包括利益計算書の要旨

	第57期 2009年4月 1日～ 2010年3月31日	第58期 2010年4月 1日～ 2011年3月31日
売上高	98,843	100,851
売上原価	66,014	66,736
売上総利益	32,829	34,114
販売費及び一般管理費	30,988	31,237
営業利益	1,840	2,876
営業外収益	551	508
営業外費用	712	794
経常利益	1,679	2,590
特別利益	93	43
特別損失	105	2,359
税金等調整前当期純利益	1,667	274
法人税等	△ 436	17
少数株主損益調整前当期純利益	—	257
当期純利益	2,104	257
(連結包括利益計算書)		
少数株主損益調整前当期純利益	—	257
その他の包括利益	—	△ 111
包括利益	—	145

売上高 2011年3月の東日本大震災による期ズレ発生はあったものの、厨房部門と浴槽・洗面部門の売上高がともに増収となったことから、売上高は前年同期比2.0%増の1,008億51百万円となりました。

売上原価 生産面で引き続き原価低減に努めた結果、売上原価率は前年同期比0.6ポイントダウンの66.2%となりました。

販管費 徹底したコスト削減による経費の圧縮に努めた結果、大震災による期ズレ発生に伴う販管費率上昇圧力の中、販管費率は前年同期比0.4ポイントダウンの31.0%となりました。

営業利益 増収効果に加え、売上原価及び販管費の圧縮に努めた結果、営業利益は前年同期比56.3%増の28億76百万円となりました。

当期純利益 大震災による特別損失18億79百万円の計上などにより、当期純利益は前年同期比87.8%減の2億57百万円となりました。

(連結損益計算書)

売上高	98,843	100,851
売上原価	66,014	66,736
売上総利益	32,829	34,114
販売費及び一般管理費	30,988	31,237
営業利益	1,840	2,876
営業外収益	551	508
営業外費用	712	794
経常利益	1,679	2,590
特別利益	93	43
特別損失	105	2,359
税金等調整前当期純利益	1,667	274
法人税等	△ 436	17
少数株主損益調整前当期純利益	—	257
当期純利益	2,104	257

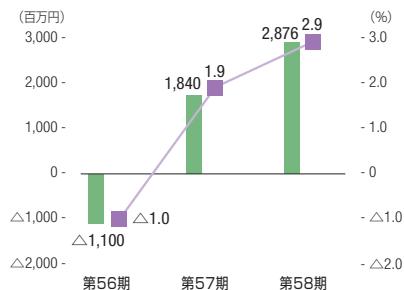
(連結包括利益計算書)

少数株主損益調整前当期純利益	—	257
その他の包括利益	—	△ 111
包括利益	—	145

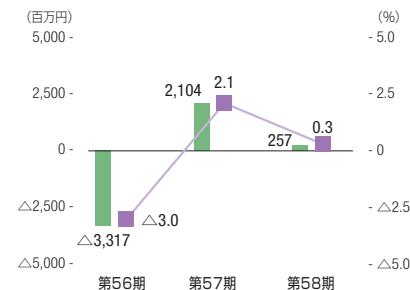
■ 売上高



■ 営業利益・営業利益率



■ 当期純利益・当期純利益率





■ 連結キャッシュ・フロー計算書の要旨

(百万円)

	第57期 2009年4月1日～ 2010年3月31日	第58期 2010年4月1日～ 2011年3月31日
営業活動によるキャッシュ・フロー	7,468	6,753
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 1,262	△ 1,214
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 1,002	△ 1,611
現金及び現金同等物に係る換算差額	1	△ 10
現金及び現金同等物の増減額	5,205	3,917
現金及び現金同等物の期首残高	16,675	21,881
現金及び現金同等物の期末残高	21,881	25,798

営業活動によるキャッシュ・フロー

営業活動によって得られた資金は前年同期比9.6%減の67億53百万円となりました。これは主に、税金等調整前当期純利益2億74百万円、減価償却費28億96百万円、売上債権の減少39億83百万円、未払金の増加12億41百万円があった一方で、仕入債務の減少22億51百万円があったこと等によります。

投資活動によるキャッシュ・フロー

投資活動の結果使用した資金は前年同期比3.8%減の12億14百万円となりました。これは主に、生産設備の増設及び改修に伴う支出7億90百万円、情報システム構築に伴う支出4億41百万円があったこと等によります。

財務活動によるキャッシュ・フロー

財務活動の結果使用した資金は前年同期比60.7%増の16億11百万円となりました。これは主に、短期借入金の純増1億円があった一方で、長期借入金の約定返済9億80百万円、配当金の支払い4億68百万円、自己株式の取得1億93百万円があったこと等によります。

現金及び現金同等物の期末残高

これらにより、現金及び現金同等物の期末残高は、前期末比39億17百万円(17.9%)増加し257億98百万円となりました。

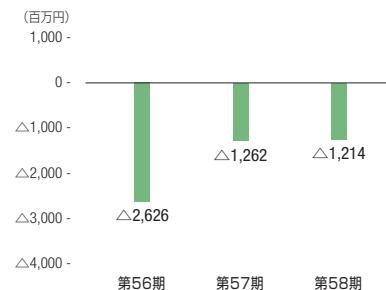
■ 現金及び現金同等物の期末残高



■ 営業活動によるキャッシュ・フロー



■ 投資活動によるキャッシュ・フロー



株式関連情報 (2011年3月31日現在)

■ 剰余金の配当について

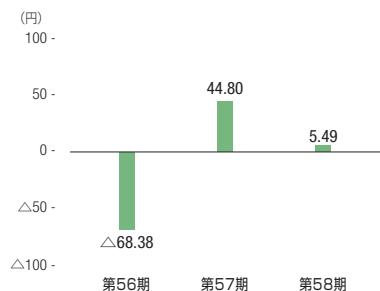
当社は、株主の皆さまに対する利益還元を重要な経営方針の一つと考えております。長期的な安定と成長を実現することにより最大の利益をあげ、安定的な配当を長期的に継続していくことを基本方針としております。

内部留保資金につきましては、新製品生産設備、営業拠点整備、情

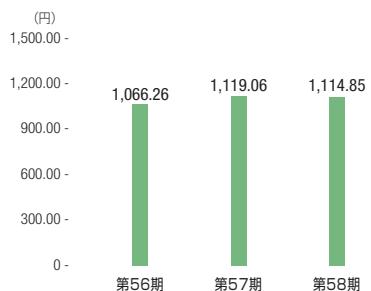
報基盤整備等の設備投資に充て、効率的な経営による収益力の向上と資本効率の向上に努めてまいります。

なお、期末配当金につきましては、1株当たり5円とし、1株当たり年間10円の普通配当を実施させていただきました。

■ 1株当たり当期純利益



■ 1株当たり純資産額

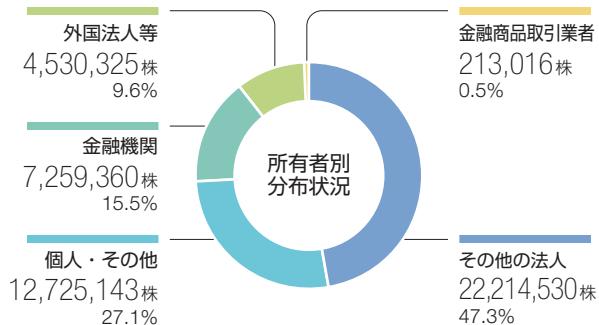


■ 1株当たり配当金



■ 株式の状況

発行可能株式総数	130,000,000 株
発行済株式総数	46,942,374 株
株主数	5,031 名



■ 大株主

株主名	持株数(千株)	持株比率(%)
株式会社井上	12,476	26.7
株式会社タカヤス	6,829	14.6
クリナップ社員持株会	2,286	4.9
クリナップ真栄会	1,688	3.6
クリナップ共進会	1,316	2.8
ザパンクオブニューヨークフリージャーナルアカウント	1,250	2.6
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	1,198	2.5
井上 けよ	1,133	2.4
株式会社三菱東京UFJ銀行	757	1.6
三菱UFJ信託銀行株式会社	693	1.4

注) 持株比率は自己株式(350,546株)を控除して計算しております。

会社情報 (2011年3月31日現在)



■ 会社概要

商号	クリナップ株式会社 Cleanup Corporation
本社所在地	〒116-8587 東京都荒川区西日暮里6丁目22番22号
電話	03-3894-4771(大代表)
創業	1949年10月5日
会社設立	1954年10月5日
工場	1990年2月6日 東証2部上場 1991年9月2日 東証1部指定
資本金	132億6,734万円
主要営業品目	厨房機器、浴槽機器、洗面機器、その他
社員数	2,653名
主な事業所	支社：国内2カ所 支店：国内9カ所 営業所：国内123カ所 海外：香港支店、北京事務所 工場：四倉、鹿島システム、鹿島、湯本、クレート (いずれも福島県いわき市)

■ 役員 (2011年6月28日現在)

代表取締役社長	井上 強 一	取締役相談役	高 嶋 信
取締役	加藤 亨 一	取締役相談役	川合 和 夫
取締役	小島 輝 夫	常勤監査役	山根 康 正
取締役	小松 裕 恒	監査役	猪狩 昌 行
取締役	鈴木 章	監査役	新谷 謙 一
取締役	松浦 昌 孝	監査役	有賀 文 宣
取締役	佐藤 茂		
取締役	屋代 光 昭		

注) 監査役 新谷謙一及び有賀文宣の両氏は、社外監査役であります。

■ ショールーム (全国102カ所)

リテール事業部	1カ所	北陸支店ブロック	5カ所
札幌支店ブロック	4カ所	静岡支店ブロック	4カ所
東北支店ブロック	13カ所	名古屋支店ブロック	8カ所
北関東支店ブロック	6カ所	大阪支社ブロック	11カ所
東京支社ブロック	19カ所	中四国支店ブロック	15カ所
信越支店ブロック	5カ所	九州支店ブロック	11カ所

お近くのショールームをホームページでご確認ください。

<http://cleanup.jp/>

※株主・投資家の皆さまに向けたIR情報(決算情報等)を掲載しております。
また、「商品情報」をはじめ、ホットな「新着情報」、さらに「生活情報」なども掲載しております。



■ 株主メモ

事業年度	4月1日～翌年3月31日
期末配当金 受領株主確定日	3月31日
中間配当金 受領株主確定日	9月30日
定時株主総会	毎年6月
上場証券取引所	東京証券取引所 市場第一部
公告方法	電子公告により、下記当社ホームページに掲載いたします。なお、やむを得ない事由により電子公告によることができない場合は、日本経済新聞に掲載いたします。 電子公告掲載 URL http://cleanup.jp/
単元株式数	100株

【株式に関するお手続きについて】

■ 証券会社等の口座に登録された株式

株主様の住所変更、買取・買増請求その他各種お手続きにつきましては、口座を開設されている証券会社等(口座管理機関)にお問合せ下さい。

■ 特別口座に登録された株式

特別口座に登録された株式に関する各種お手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、三菱UFJ信託銀行証券代行部までお問合せ下さい。

■ 未受領の配当金

未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行証券代行部までお問合せ下さい。

【株主名簿管理人/特別口座の口座管理機関】

三菱UFJ信託銀行株式会社

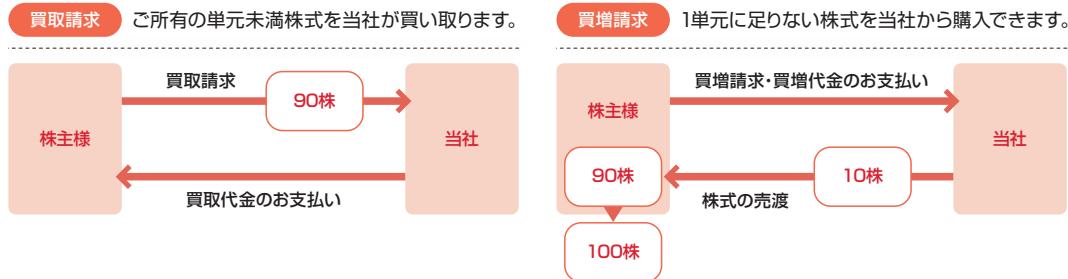
【同連絡先】

三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
〒137-8081 東京都江東区東砂七丁目10番11号
TEL 0120-232-711 (通話料無料)

■ 単元未満株式をご所有の株主様へ

単元未満株式につきましては市場で売買することはできませんが、口座管理機関を通じ、当社に対して買取請求または買増請求をすることができます。お手続きの方法等につきましては、口座管理機関(証券会社等または三菱UFJ信託銀行株式会社証券代行部)にお問合せ下さい。

(例) 株主様が単元未満株式を90株ご所有の場合



■ 特別口座をご利用の株主様へ

特別口座は証券会社等へ開設された口座と異なり、自由な売買ができる口座ではありません。株式の売買等を円滑に実施するため、証券会社等への口座開設及び特別口座からの振替手続きをお勧めいたします。お手続きの方法等につきましては、三菱UFJ信託銀行株式会社証券代行部までお問合せ下さい。

クリナップ®株式会社

東京都荒川区西日暮里6-22-22 〒116-8587 TEL 03(3894)4771

